

令和7年度 盛岡市出資等法人 経営評価シート

1 法人の概要

法人名	たまやま振興株式会社	所管課	玉山総合事務所産業振興課
所在地	〒028-4134 盛岡市下田字生出893番地11		
電話番号	(019)683-3215	設立年月日	平成9年9月5日
代表者	代表取締役社長 後藤敏弘 <input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 市OB <input checked="" type="checkbox"/> 市現職 <input type="checkbox"/> その他		
設立目的	農村資源を活用した都市との交流を推進し、地域の活性化を図ると共に市民の保養と憩いの場として心身の健全化に向けて、利用促進を図る。		
主要事業	<div>① 宿泊事業</div> <div>② クアハウス(温泉入浴)事業</div> <div>③ 食工房事業</div> <div>④ 郷土食販売事業</div> <div>⑤ 産直売店事業</div> <div>⑥ 地場産品・特産品の開発</div>		

具体的な取組目標

成果指標名		単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	売上目標	千円	計画	125,000	125,000	142,000
			実績	111,456	127,148	149,300
②	売上費用 (販売費および一般管理費)	千円	計画	124,886	132,515	150,500
			実績	138,331	143,149	150,138
③	営業利益	千円	計画	-24,186	-27,515	-33,000
			実績	-45,494	-38,947	-26,132
④	営業外利益 (営業外収益)	千円	計画			
			実績	43,947	34,426	41,894

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。
- 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
- 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

2 法人の経営内容の詳細

(1) 目的適合性(公益性)

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 設立目的	1	法人は、設立目的に沿った活動を行っている。	○	
	2	全ての事業内容が、設立目的または趣旨にしたがって展開されている。	○	
	3	現在の社会経済情勢の下でも、法人の設立目的や事業には公益性が認められる。	○	
	4	法人を取り巻く社会経済状況は、設立当初から大きな変化はない。		○
2 代替性	5	民間等(株式会社の場合、他の事業者等)において、代替が可能な類似の事業が行われていない。		○
	6	現在の事業量は、最大時の事業量と比べて著しく減少していない。	○	
	7	法人が事業を廃止すると、事業の実施する事業者がまったくなくなり、市民が不利益を被る。		○
3 市の施策推進における役割	8	法人の活動は、関連する市の政策、施策に結びついている。	○	
	9	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人の役割が規定されている。	○	
	10	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人が実施する事業の施策上の役割、方向が規定されている。	○	
合計			7	3

・評価コメント

目的適合性(公益性)について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての評価及び関与のあり方について記載してください。

出資法人	<p>[現状と課題]</p> <p>当法人が指定管理者となり運営している盛岡市総合交流ターミナルは、農業資源を活用した都市との交流促進を図るため平成10年に開館した施設で、当法人はこの施設の運営管理を行うため旧玉山村が中心となり設立されたものであり、施設は、農業振興の他、玉山地域唯一の温泉保養施設として、地域住民の憩いの場、交流の場、保養の場として地域住民の福祉向上に寄与している。</p> <p>施設の運営管理は、温泉入浴施設のクアハウス、農産物の展示販売する産地直売コーナー、地産地消を推進する郷土食のコーナーや宴席の提供、宿泊施設の運営、食工房の運営などが主な内容となっている。</p>
	<p>[方 策]</p> <p>当施設の設置目的である都市との交流促進や、市民の憩いの場・保養の場として多くの方々の来場を頂くことで健全経営に努めることが使命と認識しており、今後も公益性を堅持して参りたいと思っております。地域の食材、素材に拘るなどの方策を行うことで、より一層連携を強めていきたいと考えております。</p>
所管課	<p>[評価及び関与のあり方]</p> <p>法人は、施設の建設目的を理解し、平成9年に設立されてから一貫して目的の実現に向かって事業を展開してきており、地域コミュニティの向上に資すると共に、都市と農村の交流の場として広く活用されている。</p> <p>引き続き事業計画及び事業報告の評価を行い、随時必要な助言及び指導に努める。</p>

(2) 計画性

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 経営基本方針	1	経営基本方針を策定している。	○	
	2	経営基本方針の内容は、簡潔明瞭である。	○	
	3	経営基本方針には、法人の存在理由が規定されている。	○	
	4	経営基本方針について、経営陣が全ての役職員に周知している。	○	
	5	経営基本方針は、全ての役職員に浸透している。	○	
	6	全ての役職員が、経営基本方針に従った行動をとっている。	○	
2 中長期経営計画	7	具体的な指標に基づく中長期経営計画を策定している。	○	
	8	中長期経営計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行って	○	
	9	中長期経営計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、分析結果に基づき業務改善を議論する仕組みがある。	○	
	10	中長期経営計画と実績についての分析結果を中長期計画の見直しに反映させている。		○
	11	中長期経営計画と実績についての分析結果に基づき、計画を達成するための具体的な業務の改善策を実施している。	○	
3 年次事業計画	12	年次ごとの事業計画を策定している。	○	
	13	年次事業計画と実績について分析し、分析結果を次年度以降の事業計画や中長期経営計画に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	14	年次事業計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行って	○	
	15	年次事業計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、議論する仕組みがある。	○	
	16	年次事業計画と実績についての分析結果に基づき、具体的な業務の改善策を実施している。	○	
4 経営環境の把握	17	法人の経営資源の長所、短所を把握し、法人の活動に反映させている。	○	
	18	外部経営環境(事業に関わる社会経済の動向・法令等の動きなど)を把握している。	○	
合計			17	1

・評価コメント

計画性について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状と課題] 令和6年度は、計画を上回る集客・売上拡大・利益計上することができた。 一方で、エネルギー価格・食材・人件費などは上昇していくことが予想されており、利益を圧迫している状況は続いており、一層の収益性の追求が必要と認識している。
	[方 策] 経営理念を全社で共有し、大きな目標として将来にわたり持続可能な経営体の確立と自立した経営への転換を図るべく集客と売上拡大・利益計上に向け、令和6年4月に経営改革プラン(計画期間:令和6～10年度・中期計画)を策定し、経営改善を進めている。
所管課	[評価及び関与のあり方] 全社で令和6年4月に策定した経営改革プランに基づく経営改善に取り組んだことで、令和6年度の経常利益が黒字へ転換したものと考える。 今後も、経営改善が継続するよう、経営改革プラン推進の支援を行っていく。

(3) 経営管理の仕組み

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 組織管理	1	組織構造は経営環境の変化に応じて定期的に見直しされている。	○	
	2	組織を機能ごと、または事業ごとに分け、役割を明確にしている。	○	
	3	部門ごとの連携が円滑に行われる組織体制になっている。	○	
	4	異なる業務間の配置転換、権限委譲等により組織の活性化を図っている。	○	
2 コスト管理	5	事業別、業務別など、個別の事業内容に関するコスト分析を実施している。	○	
	6	コスト分析の結果が、経営計画や事業内容へ反映される仕組みとなっている。	○	
3 顧客満足度	7	定期的に顧客満足度調査を実施している。	○	
	8	顧客満足度調査の結果を分析し、分析結果を経営に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	9	顧客満足度調査の結果を分析し、顧客のニーズを把握している。	○	
	10	顧客のニーズを分析し、その結果を踏まえて改善努力をしている。	○	
	11	中長期経営計画や年次事業計画に顧客のニーズを反映させている。	○	
4 職員の 人材育成・能力開発	12	業務に必要な知識を身につけるための職員研修や派遣を実施している。	○	
	13	研修等により、実際に職員の能力・技術が向上している。	○	
	14	職員が法人の活動に関わりのある資格を取得している。	○	
	15	職員が研修で得たノウハウを、他の職員も共有している。	○	
	16	必要に応じ、専門知識を有する外部の人材を活用（職員として採用、指導や助言を受ける、など）している。	○	
	17	人材育成や能力開発を中長期経営計画等に盛り込んでいる。	○	
	18	経営陣は、人材育成や能力開発に積極的に関与し、かつ自らも学習し取り組んでいる。	○	
5 業務執行体制	19	決裁などの日常業務の意思決定や事務分掌、現金管理等、業務上の必要な規定が適切に整備されている。	○	
	20	理事会、取締役会をはじめとした業務執行体制が関係法令等に基づき適切に整備され、実質的に機能を果たしている。	○	
	21	経営上重要な意思決定は、理事会（取締役会、株主総会）の決議により行っており、必要に応じて迅速に開催できる体制が整っている。	○	
	22	監査の指摘事項に対して、改善策を実施している。	○	
	23	財務状況は、年度途中で定期的（必要があれば随時）に経営陣に報告する仕組みがある。	○	
6 情報公開	24	法人の財務状況や事業成果を積極的に外部に公表している。	○	
合計			24	0

・評価コメント

経営管理の仕組みについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	<p>[現状と課題]</p> <p>日々の売上管理表、月次の利益管理表、勘定科目残高一覧表、月別総売上高、月別の入場者数など、売上及び入場者数を昨年と対比、総売上高については経営改革プラン目標値との比較をし、経営状況の把握を行っております。</p> <p>それを係長以上で毎週行う定例ミーティングで議題とし現状を把握。会議の内容は、議事録を作成し各部門に配布し現状と情報を共有しております。</p> <p>[方 策]</p> <p>お客様満足度を高める為に実施しているアンケートは、記入をして頂いたものを従業員全員に回覧し、部門へのお言葉があった場合は、現場へのフィードバックを行っております。</p> <p>更にお客様の要望に対しては、意見を出し合い直ぐ実行できるものは時間をかけずに実行するよう努めております。従業員の地元に密着した親近感ある接客スキルを活かし、個々の力を発揮させていく事が売上増に繋がり、健全経営に繋がると考えられますので、より一層推進していきたいと考えております。</p> <p>コスト削減は、改善できるもの・無駄なものはこれからも吟味をまいりますが、一方でサービスの質、内容の低下に繋がらないようにして参りたいと考えております。</p>
所管課	<p>[評価及び関与のあり方]</p> <p>年度売り上げ目標を設定し、これを従業員に意識付けするとともに経営状況を共有する体制、顧客ニーズを経営に速やかに反映させる体制が整えられている。</p> <p>これらは、経営改革プランの目標達成に寄与するものであることから、体制の維持に必要な支援に努める。</p>

(4) 財務状況

項目番号	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 財務状況	1	債務超過になっていない。	○	
	2	自己資本が十分に確保されている。		○
	3	借入金に依存しない資金運用を行っている。	○	
	4	市からの補助金の交付はない。または市に対する収入依存度は改善の傾向にある。		○
		令和5年度決算において単年度黒字である。		○
		令和6決算において単年度黒字である。	○	
		令和6決算において減価償却前黒字である。	○	
	5	累積欠損金がない。		○
	6	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。 ※この設問は、前の問で「いいえ」と答えた場合のみ回答してください。	○	
	7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。 ※この設問は、前の問で「いいえ」と答えた場合のみ回答してください。		
合計			5	4

・評価コメント

財務状況について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	<p>[現状と課題]</p> <p>平成10年の開設から数年間は経営状況は順調であったが、平成17年以降は一部の年度を除き赤字決算となり、厳しい経営環境が続き資本金を取り崩して経営を存続してきたところである。</p> <p>しかし、抜本的な改善に至らず資本金が枯渇したことから、平成29年に経営改善計画を作成し、市から指定管理料を受けて経営を存続してきた状況である。</p> <p>令和6年度期の決算については、経営改革プランで策定した数字を上回る売上・経常利益計上をすることができた。しかしながら、各エネルギー価格・食材費・人件費の上昇が利益を圧迫する要因となっていることから、これを回収するために各部門の売り上げを伸ばす必要がある。</p>
	<p>[方 策]</p> <p>令和6年4月に、令和6年度から10年度までを期間とする経営改革プランを策定しており、この中で、将来にわたり持続可能な経営体の確立と自立した経営、黒字経営化により指定管理料に依存しない自立した経営に取り組んでいくこととしており、次の取組みを進めています。</p> <p>クア・ハウス利用料及び展示即売室(産直)の利用料については、令和6年度に条例の改正に基づく値上げを実現し、増収増益を図っています。</p> <p>クア・ハウスについては、もりおか市民割やきりん割の継続と併せて、回数券販売促進企画を実施しているほか、令和6年4月から新紙幣対応、クレジット、電子決済可能な券売機を導入し、利用者の利便性の向上を図り集客力の増加を図っています。</p> <p>郷土食コーナーについては、月替わり定食をメインに地産地消(もりおか短角牛など)を取り入れメニューの充実を図り、集客力の強化を図っています。</p> <p>産直売店については、地域を限定しない生産者募集を継続しており、更なる売り場商品のバリエーションの拡大、特に和洋スイーツなどの充実を図り、集客力の強化を図っています。</p> <p>宿泊部門については、学生スポーツ団体・各企業研修を中心とした集客を行い、収益の確保に努めています。</p>
所管課	<p>[評価及び関与のあり方]</p> <p>経営改革プランに掲げる取組みを実施することで、実施初年度に当該プランで策定した数字を上回る売上・経常利益計上をすることができたことから、今後も当該プランに掲げる取組みが推進されるよう支援に努める。</p>

(5) 活動成果

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 成果指標	1	各業務について、成果指標が数値で具体的に設定されている。	○	
	2	法人の設立目的と連動した指標となっている。	○	
	3	事業ごとに数値目標を設定している。	○	
	4	指標や目標は、類似の事業を行う他の団体（他の地方自治体の出資等法人など類似団体、民間企業、非営利団体等）の動向を踏まえて設定したものである。	○	
2 活動成果の評価と公表	5	主要な成果指標について良好な水準を保っている、または改善の傾向にある。	○	
	6	成果指標の達成度について定期的に検証が行われている。	○	
	7	法人の活動成果について、外部委員等による定期的な点検・評価が行われている。	○	
	8	活動成果をホームページ等の媒体を使って住民に公開している。		○
合計			7	1

・評価コメント

活動成果について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	<p>[現状と課題]</p> <p>週に一度の定例ミーティングは、組織の情報を共有する取組みとして継続しており、情報の共有は勿論の事、売り上げ状況の把握、又問題点の解決に迅速な意思決定の機会ともなっております。</p> <p>そしてその内容を議事録として従業員に配布することにより、タイムラグがない情報伝達となるよう努めて参ります。</p> <p>従業員は個々に高いモチベーションの基、しっかりと業務に励んでいて、時に一人二役をこなしておりますが、慢性的な人員不足の解消はされておらず、人員の不足の解消が必要と考えております。</p>
	<p>[方 策]</p> <p>定例ミーティングの継続を図ることで社員個々の経営改善に対する意識を高め、これからも迅速な問題解決、改善へと繋げていきたいと考えております。</p> <p>経営コストは無駄なもの、効果がでていないものは削減して経費の圧縮に努めていきたいと考えております。</p> <p>経営状況の改善を推進する上で売上増を図らなければなりません、併せて、顧客満足度を高め、社員が誇りをもって働ける環境を作り、地域の活性化を図るとともに市民の保健及び休養と交流の場を作る事に邁進して参りたいと思っております。</p>
所管課	<p>[評価及び関与のあり方]</p> <p>令和6年度に策定した経営改革プランの取組みが着実に進められた結果、プラン初年度から成果を出すことができおり、これは、クア・ハウス、郷土食コーナー等各部門の目標値が設定され、目標が従業員と共有されるとともに、定期的に達成状況を確認し、顧客ニーズへの対応を含む必要な改善に取り組む意識が醸成されていることが要因と考える。</p> <p>今後とも経営改革プランの推進に必要とされる支援に努める。</p>

(6) 経営内容に関するその他の特記事項

出資法人
<p>利用料金制を導入してオープンしたユートランド姫神は開業から27年を迎えておりますが、その間玉山地域及び近隣市町では人口減少が進んでおり、周辺人口の減少は経営に大きく負の影響と表れております。</p> <p>また、平成29年に大規模改修をしたものの、未改修の機械設備や構造物の老朽化が進行しており、予定外の修繕が発生しているのが現状であります。</p> <p>このような状況下の中ではございますが、令和6年4月に令和6年度から10年度までを期間とする経営改革プランを策定し、経営管理の仕組み、売り上げの拡大、人材力と組織力の向上など各般の改革に取り組んでおり、令和6年度については計画を上回る売上高・経常利益を上げることができました。</p> <p>しかしながらエネルギー価格や食材・人件費の高騰は続いておりますので盛岡市にご配慮いただきながら将来に渡り持続可能な経営体へと転換を目指していきたいと思います。</p>

3 市による総合評価

<p>総合交流ターミナル(ユートランド姫神)は、農村資源を活用することにより、都市との交流推進を図るとともに、市民の保健及び休養と交流の場として平成10年に開業した。</p> <p>開業当初は年間35万人の利用者、売上2億円余で黒字経営であったが、その後年々利用者が減少し、令和5年度では、利用者は194,745人、売上は127,148千円で営業赤字となっており、市からの指定管理料で運営している状況にある。</p> <p>経営悪化を受けて、指定管理者である「たまやま振興(株)」は、令和2年10月に「ユートランド姫神経営改革プラン」を策定し、集客と売上拡大に向けた基本戦略に基づき経営改善に努めたが、折からの新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、経営悪化を余儀なくされたものの、5類移行後は、売上・集客ともコロナ前の水準に回復しており、燃料、光熱水費、食品等の高騰の影響を受ける中で、業績は回復しつつある。</p> <p>このような状況の中、令和6年度には新たな経営改革プランを策定し、「指定管理料に頼らない自立した経営」を目標に掲げて経営改善に取り組んでおり、クア・ハウス利用料及び産直利用料の引上げや、郷土食コーナーではメニュー及び価格を改定したほか、宿泊部門では合宿などの団体利用の招致に力を入れ収益増を図り、計画期間初年度の令和6年度決算において黒字を計上する成果が出ている。</p> <p>一方で、施設の老朽化が進んでおり、主要な設備の故障は営業休止につながることもあり、これが営業収入の減少となり、経営改善の障害になりかねないことから、市としては修繕に必要な予算の確保に務め、プランの推進を支援していく。</p>
--